



全国的に新型コロナウイルスの感染拡大が続いております。秋田県は、鳥取県に次いで全国で2番目に少ない感染者数ですが、隣県では増加していますので県外移動については配慮が必要です。そんな中、学校生活では美郷町英語教育向上推進事業の公開研究会が行われ、本校の学力向上の取組を町内他校の先生方に参観していただきました。紹介いたします。

「美郷町英語教育向上推進事業公開研究会」 11月18日（水）

4-2と6-1の皆さんが大活躍！



4-2 「オリジナル美郷ピザを作ろう」



6-1 「美郷の料理を紹介しよう」

M. ○○先生（国際教養大学准教授）・N. 000先生（国際教養大学准教授）はじめ町内小・中学校の先生方をお迎えして、4年2組と6年1組の外国語の授業を参観していただきました。5年生の皆さんは「Hello!」と元気にお客さんへのあいさつや案内役をがんばってくれました。授業では、「What do you want?～オリジナル美郷ピザを作ろう～」の単元で4年生の子どもたちは店員と客に分かれて買い物をする場面を通して学習しました。「何がほしい?」「キャベツがほしい。」「何個ほしい?」「1個ください。」「ねだんはいくら?」「2仙南コインだよ。（授業でのオリジナル通貨）」と英語で自信をもって受け答えをしていました。「Let's introduce Misato local dishes.～美郷の料理を紹介しよう～」の単元で、6年生の子どもたちはタイのバドミントン選手にお勧めの料理を紹介する場面を想定し、英語でタイトルを考える学習をしました。「納豆汁がお勧めです。」「納豆の魅力は?」「ねばねばってなんて伝えたらいいの?」とグループでタイトルを考えるために知恵を出し合う子どもたち。グループで自分の考えをどのように表現するのか、質問しながら相手の考えを引き出そうとする高度な学習でしたが、英語によるコミュニケーションをがんばりました。

お互いに聞き合おうとする雰囲気もよく、楽しく学習していることや習った表現を生かしながら、会話に役立てようとする姿勢にも成長が見られました。今後は、型にはまった会話から、自由度のある自然な会話のできる子へのレベルアップを図っていきたいと考えています。

わらび座神谷あすみ先生と一緒に表現運動!

11月5日から合わせて5日間、1～4年の皆さんが、学校教育支援人材派遣事業で来校した劇団わらび座で女優として活躍されている神谷あすみさんから表現遊び・表現活動の指導をしていただきました。全員で大きな輪を作り、手を離さずに輪の向きを変えるチームワークを育むゲームやさまざまな「じゃんけんゲーム」で盛り上がりました。「だるまさんがころんだ」をしながら、思い思いにおもしろいポーズや動物のポーズをしてたくさん体を動かしました。さらに、乗り物になりきってグループで考えたストーリーを身体だけで表現する活動に挑戦した学年もあったようです。どの学年も真剣に集中しつつも、笑顔いっぱい楽しそうに活動できた5日間でした。

た。12月22日は、公民館でわらび座による町のほんもの講座（1～4年生対象）が開催されますが、神谷さんが女優として出演されるそうですので、今から楽しみです。



2年生 これも準備運動



1年生からお礼のお手紙

美郷町・大田区 友好都市提携15周年記念 川端 龍子(かわばたりゅうし)展

6年生が学友館で開催中の特別展を訪れ、絵画鑑賞

先週、6年生が風雲児と呼ばれた異色の画家川端龍子の作品展を訪れ、学芸員の説明を聞きながら、さまざまな感想をもつことができましたようです。いくつか、感想を紹介します。

6年2組 K. ○○さん

ぼくは、川端龍子の絵に関心をもった理由が3つあります。1つ目は、想像力です。龍子は中国の絵をまねして自宅にある花が咲いたのを想像して描いたそうです。冬なのに夏の花が咲いていて、とてもおもしろい作品でした。2つ目は、みんなを絵で勇気づけようとしたことです。戦争が終わったあとなのでみんな元気がなかったけど、勇気づけようと描いた作品から龍子の優しさが感じられました。3つ目は、最後まで絵を愛し続けたことです。足腰が悪くなっても、一人ではしごにのぼって描き続けていて、本当に絵を愛しているんだなと思いました。ぼくも龍子を見習って何かをあきらめずにやりたい人間になりたいです。



美郷町・大田区 友好都市提携15周年記念特別展

2020年10月31日 土曜～11月29日 日曜

6年1組 S. ○○さん

今日、学友館に行ってみて、川端龍子の絵のすべてに思いがこもっていることを知りました。最初に描いた絵は採用されなかったけれど、何度も挑戦すれば願いは叶うということを改めて知りました。ぼくも、龍子のようにあきらめずに何度も挑戦する人になりたいと思います。また、ぼくは、あきらめるという言葉がすぐに言うので見習って直していきたいです。すごい人だなと知りました。

6年1組 S. ○○さん

私は川端龍子の作品を見て、絵がきれいで独特の筆づかいが良かったと思いました。何者にもとらわれずに、自分の生き方を通して描いていたことが、宮沢賢治と似ていると思いました。描き始めた頃の絵が評判が悪かったところも賢治と同じです。こんなに独特できれいな絵は、これまで見たことがありませんでした。私も川端龍子のように自分らしい生き方をしたいです。

6年2組 O. ○○さん

川端龍子の絵を見て、「絵の中に気持ちが入っているなあ。」と思いました。戦争の時に生まれているので、戦争に関わる絵が多くありました。その中に、「怒る富士」という作品がありました。それは、戦争中に自分の子どもを亡くし、富士山を赤く染めることで戦争への怒りを表したものでした。まだまだ他にも、鬼の絵があったり、ミイラや自然などを描いていたりたくさん作品がありました。私が印象に残った絵は、やはり「怒る富士」でした。愛する我が子を亡くすということがあったので、その絵からどれだけ悲しい気持ちがあるかを感じとれました。79歳のおじいちゃんになっても絵を描き続けたそうです。すごい人です。